



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月31日

上場会社名 株式会社牧野フライス製作所 上場取引所 東  
 コード番号 6135 URL <https://www.makino.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 宮崎 正太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 永野 敏之 (TEL) 046-284-1439  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	103,039	36.8	5,403	90.3	6,953	73.3	5,340	59.3
2022年3月期第2四半期	75,340	51.8	2,839	—	4,011	—	3,351	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 12,408百万円(272.4%) 2022年3月期第2四半期 3,331百万円(327.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	223.13	—
2022年3月期第2四半期	138.56	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	350,672	189,594	53.9
2022年3月期	325,579	178,778	54.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 189,109百万円 2022年3月期 177,891百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	10.00	—	50.00	60.00
2023年3月期	—	70.00			
2023年3月期(予想)			—	80.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	221,500	18.7	15,500	37.2	16,300	14.2	13,400	11.3	559.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	24,893,841株	2022年3月期	24,893,841株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	955,115株	2022年3月期	961,278株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	23,934,964株	2022年3月期2Q	24,190,039株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	11
受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高1,030億39百万円(前年同期比36.8%増)、営業利益54億3百万円(前年同期比90.3%増)、経常利益69億53百万円(前年同期比73.3%増)、純利益53億40百万円(前年同期比59.3%増)となりました。

上期の連結受注は1,501億59百万円(前年同期比31.5%増)と、大幅に増加し、過去最高となりました。為替が円安で推移したこと、第1四半期は全地域で好調だったこと、および第2四半期は中国において大型の受注が集中する状況が継続したことが主な要因です。

第2四半期(2022年7月~9月)における報告セグメント別の受注状況(現地通貨ベース)は以下のとおりです。(当社報告セグメントはグループの販売体制をもとに構成しています。詳細については9ページを参照ください)

#### セグメントⅠ(「個別」および国内連結子会社)

牧野フライス製作所の国内受注は、前年同期に対して上回りました。半導体製造装置の部品加工向けをはじめ、自動車の金型向けなど幅広い産業から受注がありました。

下期も同様の状況が継続し、前年同期並みとなる計画です。

2022年11月に、4年ぶりにリアル開催となる工作機械見本市JIMTOFに出展いたします。大型の部品や金型を効率よく、高精度に加工できる5軸マシニングセンタや、自動搬送装置を用いた自動化の展示を予定しています。半導体製造装置やEV(電気自動車)など、今後も成長が見込まれる産業はもとより、生産性の向上に取り組みられるさまざまな産業のお客様に、具体的な検討をしていただけるよう提案します。

#### セグメントⅡ(MAKINO ASIA PTE LTD)

アジアの受注は、中国を中心として、前年同期を上回りました。

中国は、前年同期、前四半期とともに上回り、過去最高となりました。自動車の部品や金型向け、および電気電子関連の金型向けを中心に、まとまった受注を複数獲得したことで好調が続きました。自動車向けは新エネルギー車(NEV)関連の割合が増えています。

下期は大型の受注が集中した上期に比べ、大きく減少する見通しです。上期に比べ、大型の引き合い件数が減少しています。前年同期に対しては上回る計画で、受注はまだ高い水準にあります。

インドは前年同期を上回りました。自動車の部品加工向けの受注があったことに加え、航空機向けの受注がまとまりました。下期は自動車向けを中心に受注を獲得することで、前年同期を上回る計画です。

アセアンは前年同期を下回りました。自動車生産の回復が遅れています。半導体製造装置向けの受注は堅調が続きました。下期も同様の状況が継続し、前年同期並みとなる計画です。

#### セグメントⅢ(MAKINO INC.)

アメリカの受注は前年同期を下回りました。好調であった第1四半期に比べ、半導体製造装置、自動車など様々な産業において、引き合い件数が減少しています。医療向けについては、人手不足に対応するための生産効率化に向けた受注がありました。

下期も前年同期を下回る計画です。第2四半期の受注水準の維持に努めます。

#### セグメントⅣ(MAKINO Europe GmbH)

ヨーロッパの受注は、前年同期並みとなりました。下期も前年同期並みとなる計画です。エネルギー価格の上昇により欧州の景気が影響を受ける中でも、需要の掘り起こしに努めます。

期初の目論見通り、下期も高水準の受注を見込んでおり、各地域の下期受注計画は変更しておりません。但し、大型受注が集中し計画を大きく上回った上期に対しては、大幅に減少する見込みです。世界的なインフレや金融引き締めによる景気の悪化がお客様の設備投資に影響を与える懸念があり、注視しています。

また、第2四半期の受注が売上を上回ったことで、受注残も高水準が続いています。引き続き増産に取り組みます。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ250億92百万円増加し、3,506億72百万円となりました。主な増減としては、棚卸資産181億65百万円の増加、現金及び預金119億円の増加、売上債権60億89百万円の減少、建物及び構築物（純額）58億18百万円の増加、建設仮勘定47億71百万円の減少、投資有価証券24億28百万円の減少及びリース資産（純額）20億18百万円の増加などが挙げられます。

負債につきましては、1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金75億84百万円の増加、仕入債務41億16百万円の減少及びリース債務11億71百万円の増加などにより、前連結会計年度末に比べ142億75百万円増加し、1,610億77百万円となりました。

また、純資産につきましては、為替換算調整勘定90億43百万円の増加、利益剰余金41億44百万円の増加及びその他有価証券評価差額金17億15百万円の減少などにより、前連結会計年度末に比べ108億16百万円増加し、1,895億94百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想は、前回公表値（2022年7月29日公表）を修正しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	73,100	85,000
受取手形、売掛金及び契約資産	48,432	42,343
有価証券	3,542	3,335
商品及び製品	22,335	29,591
仕掛品	20,342	22,906
原材料及び貯蔵品	35,831	44,177
その他	9,999	9,406
貸倒引当金	△1,326	△1,429
流動資産合計	212,257	235,331
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,697	38,515
機械装置及び運搬具（純額）	8,947	9,718
工具、器具及び備品（純額）	4,738	5,069
土地	18,940	19,145
リース資産（純額）	4,289	6,308
建設仮勘定	5,701	930
有形固定資産合計	75,315	79,687
無形固定資産		
その他	3,611	3,147
無形固定資産合計	3,611	3,147
投資その他の資産		
投資有価証券	25,827	23,399
長期貸付金	704	659
繰延税金資産	3,378	4,201
退職給付に係る資産	729	804
その他	3,939	3,603
貸倒引当金	△183	△162
投資その他の資産合計	34,395	32,505
固定資産合計	113,322	115,340
資産合計	325,579	350,672

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,313	19,608
電子記録債務	18,304	19,893
1年内返済予定の長期借入金	4,650	8,150
リース債務	591	929
未払法人税等	2,544	1,518
その他	38,492	49,225
流動負債合計	89,895	99,323
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	23,800	27,884
リース債務	2,510	3,344
繰延税金負債	6,127	5,635
役員退職慰労引当金	129	116
退職給付に係る負債	2,304	2,417
その他	2,033	2,355
固定負債合計	56,905	61,753
負債合計	146,801	161,077
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,142	21,142
資本剰余金	37,074	37,056
利益剰余金	101,513	105,657
自己株式	△4,014	△3,988
株主資本合計	155,716	159,868
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,174	12,459
為替換算調整勘定	8,369	17,412
退職給付に係る調整累計額	△369	△631
その他の包括利益累計額合計	22,174	29,240
非支配株主持分	886	485
純資産合計	178,778	189,594
負債純資産合計	325,579	350,672

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	75,340	103,039
売上原価	55,265	73,736
売上総利益	20,075	29,303
販売費及び一般管理費	17,236	23,899
営業利益	2,839	5,403
営業外収益		
受取利息及び配当金	426	450
為替差益	76	811
助成金収入	410	63
その他	398	451
営業外収益合計	1,312	1,775
営業外費用		
支払利息	138	146
その他	1	79
営業外費用合計	139	226
経常利益	4,011	6,953
特別利益		
固定資産売却益	29	12
投資有価証券売却益	11	-
雇用調整助成金	6	-
特別利益合計	47	12
特別損失		
固定資産除却損	26	430
特別損失合計	26	430
税金等調整前四半期純利益	4,032	6,535
法人税等	675	1,190
四半期純利益	3,356	5,344
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,351	5,340

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	3,356	5,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△423	△1,715
為替換算調整勘定	471	9,043
退職給付に係る調整額	△73	△262
その他の包括利益合計	△25	7,064
四半期包括利益	3,331	12,408
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,326	12,406
非支配株主に係る四半期包括利益	5	1

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,032	6,535
減価償却費	3,493	3,787
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△211	△85
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5	△13
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	21	5
受取利息及び受取配当金	△426	△450
支払利息	138	146
為替差損益(△は益)	△9	△189
投資有価証券売却損益(△は益)	△11	-
固定資産売却損益(△は益)	△29	△12
固定資産除却損	26	430
売上債権の増減額(△は増加)	540	10,896
棚卸資産の増減額(△は増加)	△7,057	△11,899
仕入債務の増減額(△は減少)	5,640	△9,020
その他	2,803	8,643
小計	8,956	8,775
利息及び配当金の受取額	421	444
利息の支払額	△134	△146
法人税等の支払額	△472	△2,507
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,770	6,565
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	-	△1,387
有形固定資産の取得による支出	△5,346	△2,779
有形固定資産の売却による収入	185	31
投資有価証券の取得による支出	△509	△4
投資有価証券の売却による収入	24	-
その他	123	△277
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,522	△4,417
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△549	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△323	△502
長期借入れによる収入	-	9,000
長期借入金の返済による支出	-	△1,500
自己株式の取得による支出	△1	△21
子会社の自己株式の取得による支出	-	△50
配当金の支払額	△483	△1,288
非支配株主への配当金の支払額	△3	△13
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△358
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,360	5,264
現金及び現金同等物に係る換算差額	379	3,064
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,267	10,477
現金及び現金同等物の期首残高	74,644	75,712
現金及び現金同等物の四半期末残高	76,912	86,190

#### (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「リース」(ASU第2016-2号)

一部の在外連結子会社においては、第1四半期連結会計期間より、ASU第2016-2号「リース」を適用しております。これによりリースの借手は、原則としてすべてのリースを四半期連結貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。また当該会計基準の適用については、経過的な取扱いに従って、当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

「時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用」

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの主な事業は工作機械の製造販売であります。製造は日本、アジアで行っており、販売は海外の重要拠点に子会社を展開して、グローバルな販売活動を行っております。従いまして、当社グループは下記Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの販売体制を基礎とした各社の所在地別のセグメントから構成されております。

報告セグメントⅠ. は牧野フライス製作所が担当するセグメントであり、主たる地域は日本、韓国、中国、大洋州、ロシア、ノルウェイ、イギリス及びセグメントⅡ、Ⅲ、Ⅳに含まれないすべての地域です。さらに、国内関係子会社を含んでおります。

報告セグメントⅡ. はMAKINO ASIA PTE LTD(シンガポール)が担当するセグメントであり、主たる地域は中国、ASEAN諸国、インドです。

報告セグメントⅢ. は、MAKINO INC.(アメリカ)が担当しているセグメントで、南北アメリカのすべての国です。

報告セグメントⅣ. は、MAKINO Europe GmbH(ドイツ)が担当するセグメントであり、ヨーロッパ大陸(ノルウェイを除く)のすべての国です。

## I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	I (百万円)	II (百万円)	III (百万円)	IV (百万円)	計 (百万円)
売上高					
1. 外部顧客に対する 売上高	19,830	31,713	18,702	5,093	75,340
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	26,027	3,431	185	11	29,656
計	45,858	35,145	18,887	5,105	104,997
セグメント利益 又は損失 (△)	△44	3,012	552	△610	2,908

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

利益	金額 (百万円)
報告セグメント計	2,908
未実現利益の消去他	△69
四半期連結損益計算書の営業利益	2,839

## II 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	I (百万円)	II (百万円)	III (百万円)	IV (百万円)	計 (百万円)
売上高					
1. 外部顧客に対する 売上高	21,927	46,465	28,727	5,919	103,039
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	40,016	6,952	288	10	47,267
計	61,943	53,417	29,015	5,929	150,307
セグメント利益 又は損失 (△)	213	4,517	1,578	△402	5,907

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

利益	金額 (百万円)
報告セグメント計	5,907
未実現利益の消去他	△503
四半期連結損益計算書の営業利益	5,403

## 3. その他

## 受注及び販売の状況

## 1. 受注の状況

## 受注高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 自 2022年 4月 1日 至 2022年 9月 30日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	30,800	20.5	0.8
II	68,564	45.7	44.4
III	38,192	25.4	37.3
IV	12,601	8.4	52.0
合計	150,159	100.0	31.5

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

## 受注残高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間末 2022年 9月 30日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	36,124	26.7	37.6
II	41,944	31.0	53.8
III	39,723	29.4	81.0
IV	17,402	12.9	92.1
合計	135,194	100.0	60.0

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

## 2. 販売の状況

## 販売実績

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 自 2022年 4月 1日 至 2022年 9月 30日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	21,927	21.3	10.6
II	46,465	45.1	46.5
III	28,727	27.9	53.6
IV	5,919	5.7	16.2
合計	103,039	100.0	36.8

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。